

令和4年11月28日

「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」
第71回（通算第150回）定例会 会議録

◆日 時：令和4年11月15日（火） PM7：15～8：45
◆場 所：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室
◆出席者：26 名 + オンライン 2 名

別紙のとおり

1. 「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」定例会について

【19：15～20：45】

19：15～

開 会

19：15～19：25

情報提供

- ・まごころサポート
- ・県鍼灸師会からのお知らせ

19：25～19：40

わたしのしごとを知ってください
「紀南まちの保健室」

特定看護師 柳本 将喜氏

19：40～20：05

講 演

「認知症と生きる」

講師：那須 孝二氏（当事者）

みなべ町地域包括支援センター 庄司 真弓氏

20：05～20：45

意見交換および発表

20：45

閉 会

【講義内容】

・みなべ町の高齢者の現状

人口：12,033人（R04/10末）

高齢化率：33.4%

要介護認定率：19.6%

第8期介護保険料：6,975円

要介護の原因

要介護1・2

→認知症が半数を占める

みなべ町の認知症施策

・那須さんとの出会い

若年性認知症への理解

事業（ふれあい喫茶オレンジの日）への参画

若年性認知症交流会への参加

・那須さんの言葉から・・・

大事にしていること

→①運動 ②趣味 ③人と接する

すぐに忘れてしまうけど、自分が書いた過去の日記を見てその時のことを話すことはできる
新聞等で取り上げられることで、家族の中で葛藤があった

皆さんに伝えたいこと

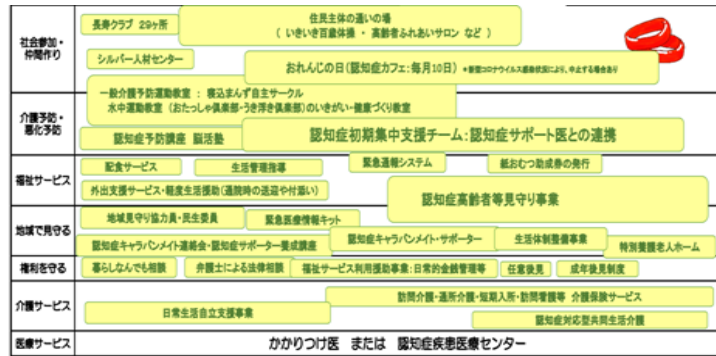
→認知症を隠すことなく、堂々と話す

一番したいこと

→認知症の当事者と会い、いろいろおしゃべりがしたい

チャレンジしたいこと

→妻と旅行したい・富士山が見たい （どこにも行っていないわけではなく、忘れていたから）



【意見交換】

●質問・意見

<那須さんに聞いてみたいこと>

・診断されて受け入れられるまでの経過を教えてください

どうすれば前向きになれるか

→ほとんど覚えていないので、答えにくい

・どのように関わってほしいか

→普通に接してほしい

・大好きな趣味をあきらめてから、どうやって立ち直ったのか

→新しい趣味が見つかったからかな

<話を聞いて思うこと>

・今は車の運転ができていますので、自由に移動ができるが、できなくなることで誰かの移動支援が必要になる。

・地域の人々の理解が重要。身近に認知症の人がいないとどこか他人事

・まわりの協力が大切。奥様がすてき

→「ごくろうさんと言いたい」と那須さん

・認知症ははっきり線をひけないので、余計に理解がむずかしい

・地域で開催されているピアサロンに、当事者参加がないのが残念。若年性認知症コーディネーターとしてはそこが課題

→那須さんの希望は「仲間に会いたい」

・病気をオープンにすることで助けてくれる一歩になる。隠すことが本人にとってマイナスに

・みんなが余裕がなくて、地域もギスギス。偏見もまだまだあるから、伝えられない側面がある

・那須さんの意識改革がすごい

・やりたいことを早いうちから聞いておくことが大切

・安心して支えてもらえる地域づくり

※定例会開催にあたっての感染症対策

- ・体調確認と必要に応じて非接触型温度計による体温測定
- ・手指消毒・換気
- ・マスク着用
- ・ZOOMを活用したオンライン研修

【次回の定例会】

→以下の日程で実施する。

日時	令和4年12月20日（火）	午後7時～
----	---------------	-------

場所	田辺市民総合センター 1F	機能訓練室
----	---------------	-------

内容	未定
----	----